特定非営利活動法人
湘南 NPO サポートセンター
平成 29 年度 事業報告書

2017 年 4 月～2018 年 3 月

(平成 29 年 4 月 1 日より平成 30 年 3 月 31 日まで)

～一人ひとりが自分らしく暮らせるまちに～

わたしたちは、組織や制度の壁を越え、人々がつながり共に行動する市民社会をつくるため、NPO・自治体・企業・大学等と連携し社会課題・地域課題の解決に向けて活動しています。

湘南NPO
サポートセンター

事業総括

地域の課題に積極的に取り組む人や団体の有り様が、ここ数年大きく変化しています。法人格も自由に選択できるようになり、NPO 法人、一般社団法人、合同会社等々、多様な主体が地域課題に取り組む時代になりました。企業や社会起業家がソーシャルビジネスを立ち上げ、IT や新しい視点を活用した、まちづくり事業も生まれている中、NPO 法人としての意義や役割について改めて問う動きも出てきました。

一方で、地域に視線を戻すと、人や地域とのつながりを求めて気軽に集まれるサロン活動や、子どもの貧困を発端にして立ち上がってきた子ども食堂や子どもの学習支援活動など、草の根的な活動が地道に繰り広げられています。

平塚では地域活動が人と人との心が通い合う活動として脈々と根づいており、そのような活動や組織を応援し、必要に応じてサポートしていくこと、そして組織と組織、人と人とをコーディネートするハブ的な役割が必要であり、それが当法人に求められることであると益々実感しています。

平成 29 年度は、平塚市との協働事業として「ひらつか市民活動センターの協働運営」が始まりました。初年度ということもあり細々とした問題に対処しつつ、センターの抱える課題解決に向けてボランティアの協力を得ながら取り組み、またスタッフの育成を信頼と期待を持って進めることが出来ました。

「ひらつか地域づくり市民大学」は 5 年目を迎え、参加された方々が地域で活躍される姿が目に留まるようになり、地域住民の協働に対する理解と認識が進んできたように思います。

新規の取り組みとしては、「スマホ・タブレットサロン」、当法人の Web サイトを通じて市民活動や地域の魅力を発信する「ひらつか地域魅力ネット」など、メンバーのスキルや専門性を活かして実施するスタイルが定着してきました。

他市や他団体からのアドバイザーやコーディネーターとしての依頼も増えてきており、事務局機能の充実が今後の課題であると言えます。

本年は、一年を通じて組織の活性化について理事会で議論を深め、これまでの活動を整理し、４つの事業部制を敷くこととしました。「まちづくり事業部」は主に人材育成や組織支援・団体支援、「メディア事業部」は、Web サイト「ひらつか地域魅力ネット」の運営、制作物受託、スマホサロンなど、そして「ひらつか市民活動センター協働運営事業」、「総務部」を置き、次年度に向けて新体制でスタートを切る準備が整いました。

これまで以上に会員の皆様、並びに関係各位の変わらぬ温かいご協力ご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

［事業運営に関する事項］

特定非営利活動に係る事業

（１）市民や市民活動団体及び地域活動団体の自立と連携を推進する事業

ア　市民活動・地域活動の相談及びコーディネート事業

・内　　容　　市民活動団体や地域活動団体の相談や援助の活動及びコーディネート、情報交換と交流の場づくり、ひらつか元気地域づくり事例集 VOL.2 編集発行

・日　　時　　随時
渋田川桜まつり（4/９）、河内川あじさいまつり(6/11)、交流会（12/14）
全国まちづくり会議 2017（10/7,8）

・場　　所　　平塚市内

・従事者人員　　７人

・対　象　者　　市民、市民活動団体、地域活動団体等

・支　出　額　　117,890 円

イ 地域づくりやまちづくりに関する普及啓発事業

・内　　容　　組織基盤強化事業「Webライターを養成し情報発信力の強化を図る」

・日　　時　　６月２日、６月１６日、６月３０日、７月１３日、７月３１日、８月３１日

・場　　所　　平塚市内

・従事者人員　　１２人

・対　象　者　　市民、市民活動団体、平塚市及び近隣市町村民

・支　出　額　　218,016 円

ウ　平塚市との協働事業：ひらつか地域づくり市民大学の開催、地域人材の育成、コーディネート

・内　　容　　第５回ひらつか地域づくり市民大学の開催（地域づくりの人材育成）

・日　　時　　7 月 15 日、7 月 27 日、8 月 10 日、8 月 24 日、10 月 28 日、
11 月 18 日、12 月 9 日　（全 7 回）

・場　　所　　平塚市内

・従事者人員　　７人

・対　象　者　　市民、市民活動団体、平塚市及び近隣市町村民

・支　出　額　　471,898 円

エ　平塚市との協働事業：ひらつか市民活動センター協働運営事業

・内　　容　　平塚市との協働による「ひらつか市民活動センター」の運営事業

・日　　時　　通年

・場　　所　　平塚市内

・従事者人員　　３人

・対　象　者　　市民、市民活動団体、地域活動団体、事業者等

・支　出　額　　4,094,819 円

（２）市民活動や地域活動及び地域社会の情報化やまちづくりの支援事業

ア　メディア事業

・内　　容　　市民及び市民活動団体、地域活動団体、事業者等が発行するチラシやリーフレットの相談・制作。WEB サイト構築に関する相談と助言及び制作。
マンツーマンによる IT 支援。

・日　　時　　通年

・場　　所　　平塚市内及び近隣市町村

・従事者人員　　6 人

・対　象　者　　市民、市民活動団体、地域活動団体、事業者等

・支　出　額　　2,206,253 円

（３）その他この法人の目的を達成するために必要な事業

実施しなかった。

尚、事業１の詳細は別紙に記載する。

別紙

（1）ア　市民活動・地域活動の相談及びコーディネート事業

●相談及び助成金に関する諸手続き等の支援

市民活動団体の相談（団体運営に関すること、NPO 法人の設立、申請書・報告書の書き方、事業計画の立て方、事業の進め方、助成金の申請サポートなど、団体からの相談に適宜対応、アドバイスを行った。パルシステム神奈川ゆめコープ助成式参加（10/4）

※今年度よりひらつか市民活動センターの協働運営がスタートしたことにより、センター内での相談件数と合わせて報告することとした。

●「ひらつか元気地域づくり事例集 Vol.2」平成 29 年 7 月 500 部発行

平成 28 年度に発行した「ひらつか元気地域づくり事例集 Vol.1」に続く第 2 弾。制作にあたっては、本年もひらつか地域づくりサポーターズや東海大学梶田ゼミ生のご協力をいただいた。この事例集は、団体活動の立ち上げから現在に至るまでの活動の経緯を時間軸と活動の変化を図に表したものである。活動する中でどのような団体や組織との連携・協働を進めてきたか、行政との連携、助成金の活用状況、表彰等が一目でわかるよう一枚のシートにまとめている。掲載された団体はもとより平塚市をはじめとする多くの方から高い評価をいただいた。

［掲載団体］

１．平塚をみがく会　　２．土屋菊づくり愛好会/土屋ざる菊愛好会　３．豊田地区みんなのサロン
４．平塚地区 BBS 会　　５．NPO 成年後見湘南　　６．女性防災クラブ平塚パワーズ
７．平塚パトロール

●10 月 7～8 日に横浜市立大学金沢キャンパスで開催された、全国まちづくり会議 2017（認定 NPO 法人日本都市計画家協会主催）には、「ひらつか地域づくり市民大学－人材育成プログラム」と「ひらつか元気地域づくり事例集」の紹介を兼ねて出展し、当法人の活動を PR した。

また、第 5 回「ひらつか地域づくり市民大学」でこの冊子をテキストとして活用した。

●市民活動団体及びメンバー間の交流・情報交換の場づくり

本年は、渋田川桜まつり（4/9）、河内川あじさいまつり(6/11)にブース出店した。ひらつか元気地域づくり事例集の取材等で培った関係を活かし、地域の枠を超えた情報交換や交流を通して互いの理解を深めることができた。交流会(12/14)では、会員同士の交流を促進し互いの労を労った。

●町内福祉村ひだまりの里　交流部会事業「吉沢寺子屋」の運営サポート

7 年目を迎えた寺子屋は児童数が 22 名～24 名と安定してきた。部会長をはじめ地域・学生等支援者が熱心に子どもたちをサポートしている。安定的な運営ができるのは平塚地区 BBS 会（神奈川大学生・BBS 会 OB）の継続的な支援によるものだが、寺子屋卒業生が OG として関わってくれることも大きな成果である。本年は寺子屋のブログ（てらこっ子ブログ）の更新に加え、当法人のボランティアスタッフが運営のサポートに入り助言やイベントサポートを行った。

（１）イ 地域づくりやまちづくりに関する普及啓発事業

●組織基盤強化事業「Web ライターを養成し情報発信力の強化を図る」

リニューアルした Web サイトを活用し、地域で活動する魅力ある人・団体・場所・お店などを取材し、Web サイトへ発信する事業を行うため、平塚市の市民活動ファンド（組織基盤強化）を活用して、メンバーが取材編集の基礎を学んだ。より身近で市民の共感を得る記事投稿を目指し、会員相互が協力し合い、平塚の魅力を探し発信する活動に取り組んだ。

日時	内容	参加者数
6月　2日（金）	講師：NPO法人森ノオト 理事長 北原まどか氏 ・取材の目的を確認しよう！ ・平塚のヒト・モノ・コトの発掘WS ・編集チームをつくる大切さ ・宿題：ヒト・モノ・コトのリスト化	12 名 他団体４団体 6 名
6月１６日（金）	講師：NPO法人森ノオト 理事長 北原まどか氏 ・アポの取り方　・取材の組み立て方　・メモの取り方 ・WSペアインタビュー ・宿題：ペアインタビューを記事にしてみよう	9 名 他団体４団体 7 名
6月３０日（金）	講師：NPO法人森ノオト 理事長 北原まどか氏 ・文章が魅力的になるための要素 ・表現や語彙を磨くための脳みそ筋トレ ・著作権や科学的根拠、データに基づいた記事の執筆方法	10 名 他団体３団体 4 名
7月１３日（金）	講師：Web プランナー 市川歩氏 ・コンテンツのつくり方・魅力的な写真の撮り方	14 名 他団体２団体 3 名
7月３１日（金）	講師：NPO法人森ノオト 理事長 北原まどか氏 同上　事務局　梅原昭子氏 ・記事が世にでるプロセス ・５Ｗ１Ｈ・仲間の記事を読んで分析 WS	12 名
8月３１日（金）	講師：NPO法人森ノオト 理事長 北原まどか氏 プロライター 柏木由紀子氏 ・仲間の記事を読んで分析 WS ・WS から見えてきたこと ・起承転結・振り返り	12 名

●6 月～Web ライター講習会実施期間中も含め、メンバーのうち 10 名が取材編集に取り組み、記事を投稿。9 か月間で合計 25 本の記事を投稿することが出来た。

アクセス数 1 日 400 前後に増加、FB アクセス数も増加し人気の記事は 100 以上のいいね、を更新した。HP:Web メディアのカテゴリーを「地域のネットワーク」から「ひらつか地域魅力ネット」に変更、よりわかりやすくなったことでアクセス数も伸びた。お店情報を見て買い物に行った、な

どの声もあり発信の手ごたえを感じた。

●メンバーが取材・記事作成・編集・発信の方法を共に学ぶことによって、組織全体が一体感を持ち、活動への参加意識の向上などの改善が見られた。特に編集会議ではより良い Web メディアを目指し、全員で校正し合うなど関係を築くことにつながった。また、自分の書いた記事が多くの市民から高い評価をいただけたことで、モチベーションアップにつながった。

●法人のホームページが「地域メディア」としての一歩を踏み出すことができた。メディアとしての発信力が向上すれば、より多くの市民へ市民活動や地域の活動を知ってもらえることにつながる。

●市民活動センター勤務スタッフも基本的な取材・編集のコツを学ぶことができた。今後センター業務においても学びを活かすことができるのではないかと期待できる。

（1）ウ　平塚市との協働事業「ひらつか地域づくり市民大学」開催、地域人材の育成/コーディネート

●地域づくりの担い手の育成と地域づくりへの関心を高めるため、第 5 回ひらつか地域づくり市民大学を開催した。公開講座を含め延べ 261 名の参加があった。

日時	内容	受講者数
7 月 15 日（土） 公開講座	第 1 部:講演　まちづくりはひとづくり　あきらめない心を育てるには 講師：大澤雅章氏（千葉都市モノレール㈱前社長） 第 2 部:座談会　2025 年のくらし・まちについて語ろう ゲスト：大澤雅章氏、梶田佳孝氏（東海大工学部教授） 安田有希氏（東海大 4 年） 小柳健人氏（神奈川大 3 年） コーディネーター:鈴木奏到氏(一般財団法人計量計画研究所理事)	45 名 （関係者含 82 名）
7 月 27 日（土） 地域活動基礎コース第 1 回	すぐに活かせる！コミュニケーション講座講座 「きく力」 講師：山之内凛太郎氏・米元洋二氏 合同会社 Active Learners 共同代表）	55 名
8 月 10 日（土） 地域活動基礎コース第 2 回	すぐに活かせる！コミュニケーション講座講座 「伝える力」 講師：米元洋二氏	52 名
8 月 24 日（土） 地域活動基礎コース第 3 回	すぐに活かせる！コミュニケーション講座講座 「場を回す力」 講師：山之内凛太郎氏	51 名
10 月 28 日（土） 地域活動実践コース第 1 回	事例から学んでみよう～多世代交流で持続可能なまちづくり 講師：鈴木奏到氏(一般財団法人計量計画研究所理事) ゲスト：平塚をみがく会　原囿信夫会長 菊を活かした土屋のまちづくり　安池館長	21 名

11 月 18 日（土） 地域活動実践コース第２回	地域を巻き込む新しいイベントプランをつくる 講師：三浦由理氏　ナレッジトラスト代表	19 名
12 月　9 日(土) 地域活動実践コース第３回	みんなが応援したくなるプランと仕組みづくり （修了式） 講師：三浦由理氏　ナレッジトラスト代表	18 名

●3 月末「第 5 回ひらつか地域づくり市民大学報告書」を 500 部発行した。　※別紙参照

●ひらつか地域づくり市民大学
平塚市（協働推進課・中央公民館・福祉総務課）との定例会議（毎月 1 回）
内容：事業の企画会議・進捗確認・運営、中長期的事業方針・目的・方向性に関する会議等

平塚市（協働推進課・中央公民館・福祉総務課）との定例会議		
平成２９年　3 月 3 日	4 月 12 日	5 月 16 日
7 月 20 日	8 月　4 日	9 月　7 日
10 月 5 日	11 月 10 日	12 月 22 日
平成３０年　1 月 31 日	2 月 3 日	

（1）エ　ひらつか市民活動センター協働運営事業
●行政提案型協働事業で採択されセンター運営の初年度を実践した。
＜29 年度のスタッフ配置＞
団体スタッフ　3 名（月平均 10 日勤務）
公営スタッフ　常勤３名、非常勤４名
（28 年度は公営スタッフ　常勤４名　非常勤５名）

＜事業の目的＞
①市民活動センターの中間支援機能を強化するため、 団体の専門性、当事者性を活かした市民目線での柔軟な運営を取り入れる。
②将来的な民営化に向けて、これまでの運営ノウハウを着実に引き継ぐ。

＜事業の目標＞
【１年目】　相談・コーディネート機能の強化
【２年目】　情報発信・研修機能の強化
【３年目】　人材育成・ネットワーク機能の強化

＜市民活動センター事業＞

●毎月１回のスタッフミーティングで事業実施状況を共有した。
　12 月のミーティングでは、相談ケース会議を実施した。

日時	内容	参加者数
6 月 18 日（日）	協働事業スタート交流会 基調講演：二宮雄岳氏（釜援隊隊長）〝思いをカタチに　市民活動でまち（社会）が変わる“ 団体交流と意見交換会、2 団体協力によるカフェコーナーの設置	42 名 18 団体
6 月(H29)～3 月(H30)	既存事業の実施と引き継ぎ 団体向け講座 5 事業 　①　キャッチコピー講座、②助成金の基礎講座、③クラウドファディング講座、④初歩の会計講座、⑤パワポで作る動画講座 市民活動ボランティア啓発事業 6 事業 　①高浜高校ボランティア講演会、②学生ボランティア、③ユースボランティア、④市民活動センターまつり、⑤ボランティア＆市民活動見本市、⑥地域出向き講座 ・IT 講座、IT 相談会 4 事業 　①　Word でチラシ作成講座、②ホームページ作成講座、③パソコン相談会、④パソコン交流かふぇ ・団体交流事業 1 事業 　①　新春団体交流会	 計 77 名 計 1,950 名 計 293 名 21 名
1 2 月　23　日（土） 1 月 20 日（土）	講座：居心地のよい「場」のつくり方 ①　場づくりの基本と会議のやり方 ②　仲間を増やすには 満足度 97%超、他市からも参加をいただくなど反響も大きく市内外の団体同士の情報交換も活発に行われた。	 45 名 39 名
3 月 19 日（金）	NPO と企業の出会いの場交流ミーティング実施	企業 8 社 14 団体 県 1 名
3 月 30 日（金）	センター協働運営報告会	5 団体
9 月 3 日（日） 9 月 6 日（水） 3 月 24 日 3 月 31 日	センターボランティアスタッフ募集説明会実施 チームひらつかを発足　（情報紙 6 名、HP チーム 9 名） 　9 月～3 月まで 25 回の会議及リニューアル作業にあたった ・平成 30 年 3 月 24 日　HP リニューアルオープン 　１２月～３月の４カ月間という短い期間で制作した。 ・平成 30 年 3 月末日　新情報誌「ひらつかの風」創刊号発行 　毎月 2 回の企画会議及び創刊号発行に向けて、短期間でフォーマットを作成、３月３１日に発行することができた。	15 名 デザイナー及び HP 制作会社協力

＜相談に関する取り組み＞

●5 月、団体のニーズ調査を実施　登録団体約 360 件にアンケートを配布。141 枚回収（81 団体:4 割）から回答が寄せられた。団体の課題を分析し、相談事業に反映させる準備を開始した。

●前年度（平成 27 年度）相談件数 176 件に対し、平成 28 年度は 211 件。
35 件の増加により前年度の 20%増。目標 20%増を達成できた。

●専門相談コーナー
上記調査結果に基づき、7 月より毎週第 2 火曜、第 3 木曜の月 2 回を設定し個別相談事業を開始した。合計 16 回実施　12 団体が参加、そのうち 3 団体が継続して専門相談を利用していただいた。

相談内容	登録団体	登録外団体	一般	合計
市民活動団体を知りたい	3(3)	3(2)	24(26)	30(31)
ボランティアをしたい	0(1)	0(0)	38(40)	38(41)
団体を作りたい	0(0)	2(3)	7(9)	9(12)
センター利用相談	4(3)	17(14)	7(18)	28(35)
団体運営相談	35(8)	11(1)	0(0)	46(9)
助成金の情報を知りたい	7(1)	3(0)	2(0)	12(1)
NPO法人を設立したい	2(0)	4(1)	3(3)	9(4)
その他	7(8)	1(5)	31(30)	39(43)
合計	58(24)	41(26)	112(126)	211(176)

（　）は H28 年度

●相談事業の体制と心構え
・一人ひとりに誠実に向き合い、真のニーズを引き出せるよう、丁寧な対応を心がけた。
・日頃の会話やヒヤリングの中から、相談につながる糸口を見つけ、適切な情報提供ができるように心がけた。
・イベントや講座の来館者にも積極的にお声がけし、相談につながる関係づくりを心がけた。

（アンケートに寄せられた声）
・相談の結果全て良い方に向かっている。精神的な安心感がある。いろいろな団体につなげてもらったおかげで今がある。これからも相談に乗って欲しい。
・今後の進むべき方向性についてアドバイスしてもらったことが今につながっている。今後も相談にのってほしい。
・助言してもらったことを今後に活かしていきたい。引き続きご支援いただきたい。

＜スタッフの育成＞

●内部研修
ひらつか元気地域づくり事例集の活用（事例紹介・活動の裏側）

●外部研修
7/3　神奈川県県民活動サポートセンター初任者研修　1 名
10/1　神奈川県県民活動サポートセンター窓口研修　1 名
8/23.10/11　神奈川県アドバイザー相談会議　1 名. 2 名
11/21 神奈川県企業と NPO のパートナシップミーティング（厚木）　3 名
11/1　つながりのまちづくりフォーラム（横浜市）　1 名

11/8.11/15　かながわコミュニティカレッジ地域に開かれた組織づくり　１名
2/1　NPO 労務研修（横浜市）　１名
2/5　人を巻き込み主体性を育むあたたかい組織のつくり方（大倉山）　１名
3/4　地域コーディネーター育成事業報告会
（CR ファクトリー＆こまちぷらす）（日本財団）１名

●視察等
・横浜市市民活動支援センター　・茅ヶ崎市民活動サポートセンター
・府中市民活動センタープラッツ

（２）市民活動や地域活動及び地域社会の情報化やまちづくりの支援事業

●スマホ・タブレットサロン
毎週木曜 10 時～12 時、市民活動センターを利用して IT 支援（スマホ・タブレット・PC の使い方についてマンツーマンによる支援を行った。
※サロン開催回数６９回、参加延べ人数１３７人、講師延べ人数１５２人
IT スキルの高いシニア会員が中心となってそれぞれの専門性を活かして開催。リピーターが増えてきており１年経って定着してきた。

●市民及び市民活動団体、地域活動団体、事業者等が発行するチラシやリーフレットの作成、WEB サイト構築に関する相談と助言及び制作を行った。この活動を通して市民、市民活動団体、地域活動団体の組織基盤強化と団体の自立に向けての後押しをすることができた。
※メディア事業会議　クライアント様と適宜内容に応じて打ち合わせを行った。

実績：NPO 法人暮らし・つながる森里川海様、女性防災クラブ平塚パワーズ様
平塚市自治会連絡協議会様、平塚のら猫を減らす会様、NPO 法人湘南スタイル様
ふじみ野敬老会様、桂川・相模川流域協議会様、相模川湘南地域協議会様、
横内中学校 PTA 様、のぞみ会神奈川支部様、市議会議員様、八幡商店会様　他

[法人運営に関する事項]

（１）　会員

●会員数
平成 29 年３月末日時点
正会員　24 名　賛助会員　14 名　アドバイザー　２名
ボランティア　７名　合計 47 名
平成 30 年３月末日時点
正会員　30 名　賛助会員　10 名　アドバイザー　３名
ボランティア　４名　合計 47 名

●第５回定期総会（社員総会）
日時：平成 29 年５月 26 日（金）18:00～19:00
会場：ひらつか市民活動センター
参加者：22 名

（２） 会議

●理事会		
第１回　４月 19 日	第２回　７月６日	第３回　10 月 12 日
第４回　２月 26 日		
議題：総会企画・議案、予算・決算、事業報告・計画、平塚市提案型協働事業 次年度組織体制、役員人事、等		

●定例会		
第１回　４月 13 日	第２回　５月 11 日	第３回　６月８日
第４回　７月 13 日	第５回　８月 10 日	第６回　９月 13 日
第７回　10 月 12 日	第８回　11 月９日	第９回　12 月 14 日
第 10 回　１月 11 日	第 11 回　２月８日	第 12 回　３月８日
議題：ひらつか地域づくり市民大学、ひらつか市民活動センター、地域魅力ネット編集 イベント企画、平塚市提案書協働事業、等		

（３）各団体・行政・他機関等委員の受任

平塚市市民活動推進委員（1 名）
平塚市社会教育委員(1 名)
平塚市地域教育カネットワーク協議会委員（１名）
平塚市地区公民館館長（2 名）
平塚市中央公民館運営委員(1 名)
平塚市伊勢山自治会連合会南会長（1 名）
平塚市青少年指導員(1 名)
公益財団法人平塚市生きがい事業団理事（1 名）
綾瀬市市民活動応援補助金（きらめき補助金）選考委員会委員 (年３回)（1 名）
H29 かながわボランタリーエースプログラム伴走支援 （10 月７日、10 月 21 日、11 月 25 日、１月 13 日、２月 24 日（報告会）全５回（1 名）

●事業提案

平成 29 年 10 月７日（土）	平塚市行政提案型協働事業「ひらつか市民活動センター協働運営事業」２年目　公開プレゼンテーション　提案団体として出席
平成 30 年３月３日（土）	公益信託ひらつか市民活動ファンド　審査会（氏家・清水）

●講師派遣・受託事業

平成 29 年 10 月開校 11 月 24 日 12 月 5 日 2 月 23 日	綾瀬市「あやせ地域づくりカレッジ」コーディネート支援 子ども食堂、コミュニティカフェ　参加（坂田） 横内の地域づくり、横内町内福祉村紹介（鈴木・坂田） 研究発表と講評、閉校式（坂田）
平成 30 年 1 月 1 1 日（木）	平塚市職員協働研修会「他市事例に学ぶ協働と職員の協働意識を高めるマネジメント」（坂田）
平成 30 年 3 月 24 日（土）	平塚市着地型観光事業準備会　アドバイザー （鈴木・坂田）

４．組織体制　平成 29 年度末時点

理事長	坂田　美保子	副理事長	氏家　真美
理事	坂本　著法	理事	打田　照純
理事	木村　美江子	理事	菅野　由美子
監事	打田　芳恵	監事	徳永　宣明
アドバイザー	鈴木　奏到　氏	アドバイザー	二宮　雄岳　氏
アドバイザー	梶田　佳孝　氏		

正会員　30 名
賛助会員　10 名
アドバイザー　3 名
ボランティア　4 名　　合計 47 名

以上

（名称）特定非営利活動法人　湘南NPOサポートセンター

活　動　計　算　書

平成29年4月1日から平成30年3月31日　　（単位：円）

科目	金額			
Ⅰ経常収益				
１　受取会費				
正会員受取会費	87,000			会員 29名×3000円
賛助会員受取会費	21,000			賛助会員　7名×3000円
		108,000		
２　受取寄付金				
受取寄付金	233,876			
		233,876		
３　受取助成金等				
助成金等	200,000			平塚市・民間助成
委託金等	4,275,000			市民大学・市民活動センター
		4,475,000		
４　事業収益				
支援施設事業収益	126,500			センター講座参加費等
まちづくり事業収益	85,000			市民大学講座参加費
市民活動支援事業収益	2,340,082			市民活動支援・メディア事業等
		2,551,582		
５　その他収益				
受取利息	20			
雑収入	0	20		
経常収益計			7,368,478	
Ⅱ経常費用				
１　事業費				
（1）人件費				
役員報酬	120,000			役員
給料手当	3,604,055			センター人件費・メディア他
法定福利費	4,500			
人件費計	3,728,555			
（2）その他経費				
業務委託費	1,180,846			HP制作費・メディア制作費
旅費交通費	311,242			
諸謝金	474,440			
印刷製本費	821,831			
会議費	17,444			
事務・消耗品費	85,439			コピー用紙・インク代・事務用品代
調査研究・研修費	93,497			
Web制作費	270,000			
通信費	1,332			
接待交際費	33,156			
諸会費	13,000			
支払手数料	6,294			
租税公課	71,800			
その他経費計	3,380,321			
経常費計		7,108,876		
２　管理費				
（1）人件費				
役員報酬	0			人件費
給料手当	0			
旅費交通費	0			交通費
人件費計	0			
（2）その他経費				
消耗品費	43,099			会議費・コピー費・消耗品費
通信費	28,659			電話代
諸会費	10,000			
その他経費	14,402			HP管理費
支払手数料	1,464			
賃借料	2,400			センターロッカー代
その他経費計	100,024			
管理費計		100,024		
経常費用計			7,208,900	
当期正味財産増減額			159,578	
前期繰越正味財産額			439,354	
次期繰越正味財産額			598,932	

書式第１５号（法第２８条関係）

貸借対照表

2018（平成30）年　3月　31日現在

特定非営利活動法人　湘南NPOｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ

（単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ　資産の部			
１　流動資産			
現金預金	1,203,283		
流　動　資　産　合　計		1,203,283	
２　固定資産			
(1)有形固定資産			
土地・建物	0		
車両運搬具	0		
有形固定資産計	0		
固　定　資　産　合　計		0	
資　産　合　計			1,203,283
Ⅱ　負債の部			
１　流動負債			
未払金	601,636		
短期借入金	0		
預り金	2,715		
流　動　負　債　合　計		604,351	
２　固定負債			
修繕引当金	0		
積立・準備金	0		
固　定　負　債　合　計		0	
負　債　合　計			604351
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		439,354	
当期正味財産増減額		159,578	
正味財産合計			598,932
負債及び正味財産合計			1,203,283

財産目録
（特定非営利活動に係る事業会計）
平成30年　3月31日　現在
特定非営利活動法人　湘南NPOサポートセンター

科　目	金　額		
Ⅰ　資産の部			
1、流動資産			
現金預金　ゆうちょ銀行	212,983		
平塚信用金庫	990,036		
手元現金	264		
流動資産計		1,203,283	
2、固定資産	0		
固定資産計		0	
資産合計		1,203,283	
Ⅱ　負債の部			
1、流動負債	0		
未払金	601,636		
預り金	2,715		
流動負債合計		604,351	
2、固定負債	0	0	
固定負債合計			
負債合計		604,351	
正味財産			598,932

財務諸表の注記

1．重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日　2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準 協議会）によっています

・消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2．事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

科目	(1)まちづくり事業	(2)市民活動センター運営事	(3)団体支援事業	(4)メディア事業	事業費計	管理部門	合計
Ⅰ　経常収益							
受取会費	0	0	0	0	0	108,000	108,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	233,876	233,876
受取助成金等	0	0	200,000	0	200,000	0	200,000
委託金	305,000	3,970,000	0	0	4,275,000	0	4,275,000
事業収益	0	0	247,300	2,092,782	2,340,082	0	2,340,082
その他の収益	85,000	107,000	19,500	0	211,500	0	211,500
経常収益計	390,000	4,077,000	466,800	2,092,782	7,026,582	341,876	7,368,458
Ⅱ．経常費用							
(1)人件費							
役員報酬	0	120,000	0	0	120,000	0	120,000
給料手当等	260,500	2,634,674	0	708,881	3,604,055	0	3,604,055
法定福利費	0	4,500	0	0	0	0	4,500
人件費計	260,500	2,759,174	0	708,881	3,728,555	0	3,728,555
(2)その他経費							
講師等謝金	110,000	110000	190,000	64,440	474,440	0	474,440
業務委託費	0	906846	0	274,000	1,180,846	0	1,180,846
印刷費	51,425	8840	42,200	719,366	821,831	0	821,831
会議費	8,463	873	500	7,608	17,444	210	17,654
交通費	28,000	194738	56,054	32,450	311,242	0	311,242
接待交際費	4,536	3000	17,320	8,300	33,156	0	33,156
支払手数料	0	1851	1,728	2,715	6,294	1,464	7,758
事務費	8,974	16000	27,684	32,781	85,439	42,889	128,328
Web制作費	0	0	0	270,000	270,000	10,800	280,800
賃借料	0	0	0	0	0	2,400	2,400
諸会費	0	0	0	13,000	13,000	10,000	23,000
調査研究費	0	50500	0	0	50,500	0	50,500
租税公課	0	0	0	71,800	71,800	200	72,000
研修費	0	42997	0	0	42,997	0	42,997
通信費	0	0	420	912	1,332	28,659	29,991
HP管理費	0	0	0	0	0	3,402	3,402
経常費用計	471,898	4,094,819	335,906	2,206,253	7,108,876	100,024	7,208,900
営業損益	-81,898	-17819	130,894	-113,471	-82,294	241,852	159,558
受取利息	0	0		0		20	20
営業外収益	0	0		0		20	20
当期利益	-81,898	-17819		-113,471		241,872	159,578